

ひょうごの福祉

認め合い ともにつながり 支え合う みんなでつくる ひょうごの福祉

2019

11

No.825

P2 特集①

人に寄り添い、生活を支える介護の仕事
～スキルアップしながら生き生きと働く～

P4 特集②

苦情解決制度創設から20年
～これまでのあゆみと
今後の課題～

P6 「ストップ・ザ・無縁社会」地域での支え合い

P7 みんなでつくるひょうごの福祉
リヤカーが紡ぐ地域づくり
～移動販売をきっかけに
世代を超えたつながりを～

P8 キラリ★社会福祉法人
社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団
地域交流の拠点として存在するために
～「おいてやすカーニバル」をはじめとした取り組み～

P9 私の物語
「笑い」で地域活動を盛り上げたい
壽文寿さん(尼崎市)

P10 ひょうごの福祉NOW

P12 インフォメーション

兵庫県の県花「のじぎく」。
日笠山(姫路市・高砂市)などで
白い花を咲かせるよ。



11月は「児童虐待防止推進月間」です



この機関紙は赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



人に寄り添い、 生活を支える介護の仕事 ～スキルアップしながら生き生きと働く～

介護保険制度が平成12年にスタートして以降、介護分野で働く人は、約55万人から約190万人(平成29年度)へと大幅に増加した。さらに国は、令和7年度までに新たに約55万人の担い手が必要だとし、総合的な人材確保に取り組んでいる。

このような中、介護の仕事に関心を寄せる子育て世代や就職氷河期世代(30代半ば～40代半ば)、中高年世代も多いことから、本特集では、未経験のパートタイマーとして就職した後、現在では介護の資格を取得しフルタイムで働く方のレポートを交え、“スキルアップしながら働く”という切り口から介護の仕事の魅力について考えたい。



人と人とのつながりを実感。働きがいのある介護の仕事

介護労働の現状 働きがい仕事を選択

(公財)介護労働安定センターが公表した「平成30年度介護労働実態調査」によると、介護労働の現状のうち、労働者の年齢割合は、40～49歳が25・1%、50～59歳が22・2%、60歳以上が21・6%であり、40歳以上の方が7割近くを占めている。

また、同調査によると、介護の仕事を選んだ理由として、①働きがいのある仕事だと思った(49・3%)、②資格・技能が活かせる(35・5%)、③人や社会の役に立ちたい(29・5%)が上位に挙がり、介護に魅力を感じ、志を持って入職する人が多いことが読み取れる。

そして、介護職員の給与に関しては、国は平成21年度から月額5万7千円の処遇改善を行い、今年10月からさらなる賃上げを実施する。

【参考】※平成29年9月

◇介護職員の平均給与額

29万3450円(平均勤続年数7.3年)

ライフステージに応じた 多様な働き方

介護分野において40歳以上の方が多く働いている現状をひもとくと、「仕事と家庭の両立」が一つのキーワードとして見えてくる。前述の調査において、現在の法人(職場)に就職した理由に「通勤が便利だから(37・3%)」の割合が高いことも見逃せない。

例えば、子育て世代の場合、一般的に子どもが小さい期間は、パートタイムのような短時間勤務や少ない勤務日数を希望し、子どもの成長に伴ってより長時間働きたいとフルタイムを希望することが多い。同様に、親の介護をする世代も、柔軟な働き方を希望するケースがある。

実際介護分野ではライフステージに応じてどのように働いているのだろうか。未経験のパートタイマーで入職し、現在は介護福祉士として正規雇用のフルタイムで就労する方の事例を紹介したい。

インタビュー

奥野 美穂子さん(洲本市)

社会福祉法人洲本たちばな福祉会に勤務する奥野さん(58歳、女性)。勤務歴は13年になる。

入職のきっかけは？

45歳の時にパートタイムで特別養護老人ホームたちばな苑(以下、「特養」)に入職しました。それまでゴルフ場のキャディをしていましたが、体力的に続けることが難しいと思い、転職しました。40歳の頃に旧ホームヘルパー2級を取得していたこと、子どもが高校生になり教育費も必要になったことから、介護の仕事に就きました。

入職当時の働き方は？

特養での日勤です。1日8時間、週3〜4日の勤務からスタートしました。仕事に慣れてきた6カ月後には、経験を積むために訪問介護にも週1〜2日従事しました。施設・在宅と、それぞれに生活を送る方と

接する楽しさを感じ、また、悩みを共有できる同僚がいたことが仕事の大きな支えになりました。

47歳の時には、フルタイムの臨時職員となり、特養の夜勤も行うようになりました。子どもが大学生になり島外に出ましたので、毎月の家賃や送りなどもしつかり稼がなければと思いました。

資格取得とキャリアアップは？

働きながら介護福祉士の資格を取得する組織風土があり、先輩職員を手本に自分も頑張ろうと一念発起しました。資格取得に向け、勤務調整(シフトや休日の配慮)や、研修費用の助成といった組織のバックアップもありがたかったです。

48歳で介護福祉士の資格を取得した後、正規雇用となりました。基本給や資格手当、賞与など、パートタイムからずいぶん待遇がよくなりました。趣味もしっかり楽しめるようになりました。

現在の働き方・仕事の内容は？

50歳になった時には、現在勤務する「地域密着型特別養護老人ホーム洲本たちばなプラス」の開設に力を尽くしました。一からの施設整備で大変なこともありましたが、チームワークで乗り越えました。52歳でユニットリーダーとなり、現在に至っています。

余談ですが、自宅から勤務先まで車で3分です。日々の暮らしに近い場所で働けることも大きな魅力です。



一人一人に寄り添い、笑顔を引き出す

魅力ある介護の仕事で 生き生きと働こう

近年、介護分野の施設・事業所では、柔軟な働き方やスキルアップができ、長く働き続けられるような職場環境づくりが進められている。

「高齢者の自然な姿に愛おしさを感じ、一緒に笑って過ごしていると、どんどん人が好きになっていきます」と、奥野さんが笑顔でその魅力を語る介護の仕事。その入口となるよう、兵庫県福祉人材センターでは、就職相談・紹介・あっせんのほか、職場見学や職場体験などを通じて、福祉のお仕事探しをサポートしている。お気軽にご利用いただきたい。

福祉のお仕事探しをサポート! 兵庫県福祉人材センター

- ①就職相談・紹介
- ②福祉のしごと職場見学バスツアー
- ③福祉体験学習
- ④就職総合フェアなどイベント開催
- ⑤求人・イベント情報の発信

【問い合わせ先】
TEL:078-271-3881





苦情解決制度 創設から20年

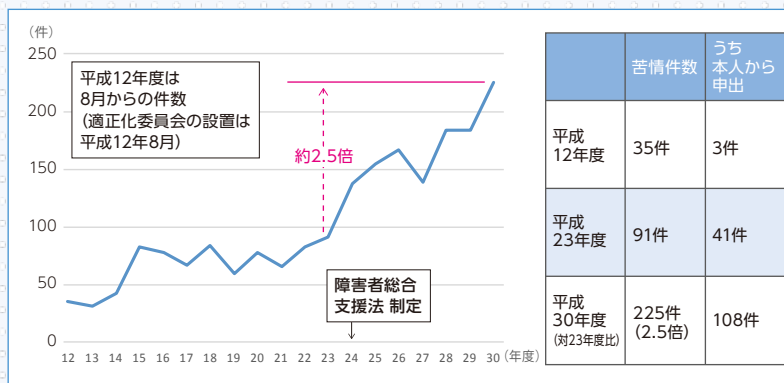
～これまでのあゆみと今後の課題～

福祉サービスにおける苦情解決制度が誕生して、来年で20年が経過する。行政がサービス内容を決定する措置制度から、利用者が事業者と対等な関係に基づき、サービスを選択する制度へ転換された時期に、個人の自由な福祉サービスの選択という理念を実現する目的で「苦情解決制度」が創設された。

今回の特集では、制度当初からのあゆみを振り返りながら、今後事業者に求められるポイントをお伝えする。



図1 年次別苦情受付件数



苦情受付の状況

◆適正化委員会に寄せられた苦情福祉サービスの苦情は、サービスを提供する事業所に申し出る場合と、兵庫県福祉サービス運営適正化委員会(以下、「適正化委員会」)に申し出る場合の2種類があり、適正化

委員会に寄せられた苦情件数の推移は図1のとおりである。

制度発足後4年目(平成15年度)に80件を超え、しばらくこの水準に留まっていたが、平成24年度ごろから再び増え、平成30年度は225件と、7年前(平成23年度)の約2.5倍に伸びている。この理由としては、サービス提供事業所に社会福祉法人以外の参入が進んだこと、障害者総合支援法の制定、障害者権利条約の批准などにより権利意識が高まり、利用者本人からの苦情が増大したことがあげられる。

◆サービス提供事業所に対する苦情

一方、各サービス提供事業所に対する苦情件数は、「苦情解決セミナー」と並行し実施したアンケート調査によると、平成30年度の事業所への苦情件数は「無し」もしくは「1件のみ」が全体の6割以上を占めていた。

件数自体は徐々に増加傾向にあると思われるが、いまだ多くの事業所では苦情を申し出にくい状況にあることが数字からうかがえる。

苦情解決で事業所に 求められること

苦情は無ければ良いというものではなく、「ニーズや要望の「掘り起し」につながることで、適切な対応が利用者や職員との間に信頼関係を醸成し、福祉サービスの向上につながるものだと捉える必要がある。このことを踏まえ、県内では苦情対応に工夫を取り入れた、さまざまな取り組みが見られる。

事例1

真生乳児院(神戸市)の 取り組み

●苦情を申し出やすいよう、入所時に必ず説明をし、書きやすいフォームを準備している。玄関などに苦情箱を複数設置するほか、保護者にアンケートや意向調査を実施している。
●年3回発行する広報誌には苦情受付担当者、苦情解決責任者などを掲載し、その広報紙をホームページにも載せて窓口の周知に努めている。

事例2

宝塚栄光園(宝塚市)の 取り組み

●苦情対応のプロセスごとに対応する内容を整理している。(例:「これから今回のことを検証して再発防止策を立てます」「1週間後に連絡します」など、期限と実施内容を明確化)
●「より良いサービスにつながるために書く」という目的をスタッフで共有し、「苦情等に関する対応書」様式を整備した。(この様式でプロセスごとの対応を列挙し共有)

取り組み事例のポイントの1つは「意見・苦情を申し出やすい環境整備」だ。厚生労働省が定めた「苦情解決の指針」では、事業所には「苦情解決責任者・苦情受付担当者・第三者委員」の設置が求められ、中でも責任者には、制度の周知とともに、苦情申出人と責任者の話し合いに立会う第三者委員が活動しやすいよう配慮し、環境整備を図ることが求められる。

また、第三者委員は利用者と交

図2 苦情解決のプロセス

- ①事実の確認
- ②苦情原因の把握・分析
- ③職員間の情報の共有
- ④話し合い(苦情内容の傾聴と誠意ある説明)
- ⑤再発防止策の検討
- ⑥申出人への改善報告等
- ⑦(個人情報に関するものを除き)事業報告・

広報誌等への苦情解決結果の公表

流の機会を普段からもつことが望まれる。これは日々顔を合わせる職員には苦情を言にくいという利用者の心情に配慮し、第三者委員が中立・公正な立場から、苦情を直接受けることを可能とするためである。

2つの目のポイントは、「プロセスに沿った組織的対応」である。通常、苦情申し出があった場合、図2に示すプロセスに沿った対応が求められるが、職員間で情報を共有して段階を踏むと同時に、重要なのは組織的な対応だ。例えば、苦情

が担当者レベルで留まり、事業所としての再発防止策が講じられない場合に新たな苦情が生じることが多く、この点は十分に留意が必要である。

ここまで福祉サービスの苦情と解決に向けた対応を見てきたが、「苦情解決」とは、単に苦情を処理するだけでなく、対応のプロセスを公開することによって透明性を高め、第三者性によって公正なシステムをつくる意味合いがある※とされる。苦情を「利用者からのアドバイス」と積極的な意味で捉え、対応の仕組みをつくることで、利用者に加え、社会的な信頼性の向上につながる。

制度創設から20年を迎える今、個人の自由な福祉サービス選択や利用者の権利擁護が図られているか、振り返る必要がある。その中で、福祉サービスにおける苦情解決制度の特色をどう生かすのか、各事業所と苦情解決責任者に寄せられる期待は今後も変わらず大きなものである。

※参考文献 「利用者の権利擁護と苦情解決の意義」(平田厚著、東京都社会福祉協議会発行)



「ストップ・ザ・無縁社会」 地域での支え合い

<http://stop-muen.jp>

TOPICS

各地に広がる! 地域フォーラムの取り組み

「無縁社会」から「支え合い社会」に向けて、今年度は18市区町で「地域フォーラム」が開催されています。

地域フォーラムは、それぞれの地域において、皆がつどい、地域共生社会に向けた「福祉のまちづくり」を考える大切な機会です。皆さんの地域で開催される「地域フォーラム」に、ぜひご参加ください。



地域フォーラムの開催予定 (11月以降の開催分のみ掲載)

※地域フォーラムの詳細は、各市区町の社会福祉協議会でご確認ください。

開催日	開催地	事業名称
11月7日	宝塚市 (宝塚市総合福祉センター)	地域のつながり・ささえあいを考えるフォーラム「長期化するひきこもりの現状と課題」
11月10日	高砂市 (高砂市文化会館ほか)	第29回みんなの社協フェア (共に生きる地域づくりをめざして)
11月14日	神河町 (神河町中央公民館)	神河シニアカレッジ事業公開講座「社会参加と介護予防～どんどん活躍します元気～」
11月20日	相生市 (相生市立総合福祉会館)	令和元年度 地域福祉リーダー研修 VR(バーチャル・リアリティ)による認知症体験セミナー
11月23日	西脇市 (西脇市民会館)	いきいきふれ愛まつり ～つながれ・ひろがれ・みんなの“わ”～
11月24日	新温泉町 (浜坂多目的集会所)	新温泉町社会福祉協議会 福祉講演会
11月30日	養父市 (養父市立ビバホール)	ありがとう養父市社協15周年 しあわせフェスタ2019
12月7日	豊岡市 (じばさんT.A.J.I.M.A)	第2回 地域福祉フォーラム
12月7日	赤穂市 (赤穂市総合福祉会館)	障がい者週間ともに考える市民のつどい
12月9日	姫路市 (姫路市総合福祉会館)	子育て支援事業ボランティア交流会
12月15日	神戸市灘区 (六甲道勤労市民センター)	第2回 地域共生社会づくりフォーラムなど「支え手」「受け手」の関係を越えた地域共生社会のまちづくり
1月25日	三田市 (三田市総合福祉保健センター)	令和元年度 三田市社会福祉大会
2月29日	佐用町 (佐用町立南光文化センター)	佐用町地域福祉研修会 (認知症になっても住み続けることができる“福祉のまちづくり”)
3月7日	芦屋市 (芦屋市福祉センター)	ストップ・ザ・無縁社会地域フォーラム ～地域での見まもり、つながり、たすけあい～
3月15日	南あわじ市 (南あわじ市中央公民館)	地域福祉フォーラム

開催された地域フォーラムの様子



平成21年台風9号豪雨災害から10年フォーラム
(7月15日・宍粟市)

平成21年の台風9号豪雨災害からの10年間の歩みを振り返りながら、基調講演・パネルディスカッションによって、これからの防災・減災と地域の助け合いについて共に考えました。



第13回かとう福祉まつり・地域ケア市民フォーラム
(9月7日・加東市)

ボランティア活動発表や展示、体験コーナーなどにより、ボランティア活動の普及啓発を図り、認知症の講演会と併せて、身近な福祉についてみんなで考える一日となりました。

みんなで作るひょうごの福祉



リヤカーが紡ぐ地域づくり

移動販売をきっかけに
世代を超えたつながりを

今回は地区内の商店が廃業してしまい、買い物困難な状況になっている相生市相生地区で、移動販売を通じて地域の課題解決に取り組む小規模多機能型居宅介護事業所「おおの家」の活動を紹介しますよ。

店長さんは利用者さん

相生市内でも、相生地区は、高齢化率が50%を超える高齢化の進んだ地域である。そんな相生地区では、住民が普段の買い物に使っていた商店が6年前に閉店したことで「買い物不便で困っている」という声が聞かれるようになった。

「おおの家」は、平成20年からこの地区で高齢者向けのサービスを行ってきた小規模多機能施設である。おおの家では、住民の困りごとである買い物問題を解決しようと、地域を巡回し、野菜などの移動販売を平成30年8月に始めた。



「おおの家」の外観。民家を改修し、施設として使用している。

現在では、毎週木曜日の10時半、リヤカーに近くの農家で採れた野菜や焼き立てのパンを詰め込み、音楽をかけ地域を回る。この移動販売の店長は、おおの家の利用者で、若年性認知症の当事者であるAさんだ。発症前には相生地区で配送業に従事していたAさんに、おおの家のスタッフから「一緒にやりませんか」と声をかけたところ、「自分も地域の役に立ちたい」と意気投合し、手伝ってもらったこととなった。



リヤカーの周りに近隣住民が集まり、自然と井戸端会議が始まった。

移動販売がもたらす 人と人のつながり

移動販売を始めて1年が経過し、ここで買い物物をしようと集まる人たち同士の交流も増えてきた。交流が深まることで「あの人最近気になるからちょっと声をかけてきたで」といった住民同士の気に掛け合いも芽吹き始めている。

また、地域の高齢化や買い物、移動の問題などに触れる機会となるだろうと、地域の小学校から、「移動販売に子どもたちを参加させたい」との申し出があった。実際に参加してもらったところ、地域の歴史の話を住民から教えてもらうなど、課題を知るだけでなく、地域へ

の愛着を深める機会とすることもできたという。
おおの家は、移動販売を買い物という課題の解決のためだけでなく、当事者の役割の創出や小学生の福祉学習、さらには住民同士のつながりづくりなど様々な機会や機能と捉えて活動を続けている。

「地域のことを知るためには、自分たちから飛び込むことが大事」とおおの家のスタッフは語る。リヤカーは今日も、新鮮な野菜とつながりを住民の近くへと運んでいる。

取材を終えて

取材の中でスタッフから出た「地域の力を奪わない」という言葉が非常に印象的でした。移動販売の活動中、集まった地域住民の方向士が誰からもなく声を掛けていく様子を見て、何気ない会話の一つが互いの近況を知る見守りの機会となり、それが地域住民同士のつながりを生み、地域の力につながっていくことを実感しました。

小規模多機能型居宅介護事業所
さくらホームおおの家
相生市大谷町1-20
TEL:0791-24-3620

Q2.どのように活動を進めていますか

A2.施設の敷地内で実施し、例年1,500名を越える参加者があります。地域や大学、高等学校などのボランティアも約200名参加し、例えば、地域のサッカークラブがテントの設営を担うなど、多くの人の協力を得て開催されています。

「おいでやすカーニバル」は、作業所の商品販売やバザー、自治会の出店や地域の学生のステージなど、利用者も地域住民も一緒に楽しめるイベントです。このようなイベントをきっかけに、まずは地域の方々に施設に入ってもらい、職員や施設の利用者との自然なふれあいの中で、障害者施設を身近なものに感じてもらいたいと考えています。

Q1.取り組みのきっかけは

A1.「おいでやすカーニバル」は、昭和57年に神戸聖隷福祉事業団が神戸市須磨区に障害者施設を開設する際に開催され、来年で40回目を迎えます。

当初、施設建設に反対されていた経緯もあり、自治会が中心になって、福祉施設の大切さを地域に発信していただき、施設を歓迎する意味合いで開催されました。3回目以降は施設が主催して地域の方を招く形へ、30回目からは共催へと変化しながら続けています。

現在は自治会の事業にも組み込まれ、近隣の学校や住民も参加するなど、多くの方が施設を訪れる地域交流の一大イベントになっています。

暮らしを支える地域公益活動を紹介します。

☆キラリ★社会福祉法人☆

社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団

地域交流の拠点として存在するために

～「おいでやすカーニバル」をはじめとした取り組み～

社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団は、昭和57年から続けている「おいでやすカーニバル」などのイベントを通じて、地域との結びつきを強めてきました。

障害のあるなしに関わらず、誰もが助け合い、支え合う「共に生きる」地域を住民と共につくる公益的な取り組みを紹介します。



毎年9月23日は施設内が多くの
人であふれます

Q3.今後、どのように進めたい ですか

A3.地域の高齢化率が46%を超え、交流の形にも変化が生じています。例えば、神戸愛生園が30年以上続けてきた、隣接する団地との合同夜間防災訓練なども高齢化で参加者が減っています。住民が施設利用者を避難させる訓練だけでなく、施設から団地の住民に対する支援の必要性を話し合っています。どちらが援助するかではなく、互いに支え合う関係性を築きたいと考えています。

来年度、敷地内に交流スペースを建設し、自治会の会合や一人暮らし高齢者の憩いの場として活用いただくことも予定しています。どのような活動も地域との交流の中から発想し、今後も地域に根ざす活動を進めたいです。



ボランティアも参加者も
みんなで楽しみます

社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団
神戸市須磨区友が丘1-1
TEL:078-792-7555
URL:<http://www.kobeseirei.or.jp/>

俺が俺がの「我」を捨てて、
おかげさまでと
感謝せよ



このコーナーでは、地域福祉のキーパーソンや実践者・当事者らのエピソード・想いを紹介していきます。

「笑い」で地域活動を盛り上げたい

Personal History

昭和46年 橋右近に師事して落語家修行を開始
平成 8年 阪神淡路大震災後、仮設住宅をまわり落語を披露
平成17年 兵庫県民ボランティア活動賞を受賞
平成24年 東日本大震災後、宮城県内10カ所の仮設住宅や集会所で落語を披露
平成30年 通算高座数7,000席達成

ことぶき もんじゅ
壽 文寿さん
(尼崎市)

吃音症から始まった
落語人生

小学生の時、担任教師に吃音症についてひどいことを言われ、不登校になりました。学校がつらくて悩んでいた時に、ラジオで落語を聞き、「自分の吃音症は話さなければ治らない」と落語の勉強を始めました。初の高座が上がってからはや47年。落語が楽しくて、吃音症が治ってからもずっと話し続けています。

震災から生まれた
「福祉落語家」

落語人生の転機になったのは、阪神淡路大震災です。先行きへの不安から仮設住宅で高齢者の自殺が増えていると聞き、「笑って活力をつけてほしい」と、落語で慰問活動を始めました。健康に関する話や、自身が辛い時など、乗り越えるために心掛けていることを落語にして話しました。被災してふさぎ込んでいる人たちが、私の話で笑うのが嬉しくて、被害の大きかった神戸を中心に、仮設住宅がなく

なるまで、計46カ所の仮設住宅で落語をしました。当時、復興に尽力していた県職員の方に活動を高く

称賛いただいたこともあり、以来、福祉落語家として福祉関係団体のイベントや福祉の啓発を目的とした地域密着型の行事を専門に出演しています。

時を経て、当時の被災者から「あの時はありがとございまして」と自治会の集まりに呼んでいただいたこともありま

真面目な話も
落語で楽しく

いたこともありま。吃音症でいじめられ、自殺も考えた自身の経験から、学校の道德の授業で子ども達に命の大切さや人権について話すこともあります。子どもの自殺をニュースで聞くと悲しいですね。私が落語に救われたように、生きていけば誰かが助けてくれると思います。吃音症のある子や不登校の子からアンケートで「文寿さんの話に勇気づけられました」と言われると、私の役割は「落語」という日本文化を伝えるだけではないのだと身の引き締ま

る思いがします。

一般的な古典落語も話しますが、福祉について考えられる話はオリジナルです。一見難しく真面目な話だからこそ、笑いを交えることで、より身近に感じて、学び合える機会になると思います。今後も、自分ならではの福祉落語を、プロの落語を聞く機会の少ない地域や小さな自治会などにも届け、笑いと人のぬくもりで日本を元気にしていきたいです。



老人会での高座の様子。「笑い」が元気の源に。

※1 吃音症
発話時に言葉の一部を繰り返したり、引き伸ばしたり、言葉が詰まるなど、話し言葉が滑らかに出不ない発話障害。

Facebookで活動を紹介しています。

Facebook 壽文寿の『楽語ノート』 検索

台風19号災害にかかる
支援について

10月に上陸した台風19号により、関東甲信越地方、東北地方などに大きな被害が生じた状況を鑑み、本会は10月17日付で災害救援本部を設置。全社協から近畿ブロックの府県・指定都市社協に福島県(郡山市、須賀川市、伊達市)への支援要請があったことから、25日から被災地での支援活動を開始することになった。当面、兵庫県内の市町社協と共に福島県の伊達市社協に職員を派遣する。

※10月21日現在の情報

台風19号災害にかかる
義援金の募集について

中央共同募金会では、被災された方々の支援のため義援金を募集しています。受け付けた義援金は、被災状況に応じて按分し各都県に送金し、被災者へ配分されます。ご協力をお願いします。

中央共同募金会ホームページへ
<https://www.akaihane.or.jp/>



地域福祉推進計画
セミナーを開催しました

本会では8月から9月にかけて県内3カ所(神戸市、姫路市、養父市)で「地域福祉推進計画セミナー」を開催し、31市町社協の役員117名が参加した。

同セミナーは、本会が発行した『地域共生社会』の実現に向けた「社協活動指針」(以下、「指針」)に基づき、各市町の地域福祉推進計画の見直し・策定を進めることを目的に開催した。地域福祉推進計画とは、住民・当事者、関係団



各市町の地域福祉推進計画を持ち寄り、点検作業と気づきの共有をおこなった

体等が目指す地域の姿を描き、それに向けた取組みを進める民間計画で、県内では38市町(92.7%)の社協が策定している。

セミナーでは、この時期に立てる計画として、「社会的孤立・排除」への対応と、まちづくりと一体的に推進する地域福祉の推進策を盛り込むことの重要性を共有。その上で、指針のチェックポイントを用いて各市町の地域福祉の推進状況を点検する演習を行った。演習後、気づいたことや課題点を共有し、講師からコメントを得た。

講師の藤井博志氏(関西学院大

学教授)からは、「引きこもりを含め、地域に起こる孤立や排除に対し、開発性を発揮し、ネットワークや協働の力で対応するのが地域福祉であり、そのための中期戦略を計画化していただきたい」との話があった。

参加者からは、「地域共生社会を具体的なものとして考えられた」「学んだことを次期計画に生かしたい」といった声が聞かれた。

地域共生社会づくりに向けたセミナーを開催!

地域共生社会づくりを実現するための政策課題を共有することを目的に、厚生労働省に設置されている「地域共生社会推進検討会」の座長である宮本太郎氏(中央大学法学部教授)をお招きし、「社会福祉情勢セミナー」を開催します。この機会にぜひご参加ください。

【日時】令和元年 **11月29日**(金) 13:20~15:00

【場所】県福祉センター1階 多目的ホール

【参加費】無料(定員100名、先着順)

【参加方法】県社協ホームページの「お知らせ」に掲載のチラシをダウンロードしてお申し込みください。

【問い合わせ】県社協企画部 TEL:078-242-4633



赤い羽根共同募金運動 10月1日からスタート

兵庫県では「助け合い 広がる つながる 赤い羽根」をスローガンに掲げ、5億2,682万円を目標に来年3月31日まで共同募金運動を実施します。

いただいた寄付金は、一人暮らしの高齢者の見守り活動、子どもの居場所づくり、ふれあいサロンなど、寄付者の身近なところで役

立てられています。また、社会福祉施設の整備、自然災害の被災者の支援活動にも活用されます。

共同募金運動は、「寄付をする」と「募金活動に参加すること」で、自分の町の地域福祉を進めるボランティア活動です。自治会、民生委員・児童委員、企業や学校関係者などの皆さまに支えられ、各地で募金活動を行っています。今年も、皆さまの温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。



10月1日、神戸市長田区「鉄人広場」
「大正筋商店街」にて
キックオフイベントと
街頭募金活動を行いました。

赤い羽根 を「赤い羽根シール」にリニューアル!

赤い羽根共同募金運動のシンボルの「赤い羽根」の確保が全国的に難しいため、兵庫県共同募金会では、今年度、啓発資材として、同会マスコット「あかはねちゃん」とコラボした「赤い羽根シール」を新たに作成しました。ぜひご活用ください!



社会福祉事業経営相談室だより

※「一般相談」は月・水・金曜日、「専門相談(公認会計士)」は第1水曜日の
10:00~17:00に相談員を配置しています。TEL:078-271-1230

固定資産と修繕費の区分の考え方について

既存の建物等固定資産に対する修理・改良などの支出は、建物等の固定資産に計上するのか、それとも、修繕費等に費用計上するのかについて、迷うことがよくあります。しかも、この取り扱いについては、社会福祉法人会計基準等に具体的な定めがありません。他方、一般企業の法人税法には細かい規定があります。その中から、特に分かりやすい区分方法をご紹介します。

固定資産の通常の維持管理のため、または、毀損した固定資産につきその現状を回復するための支出は、典型的な修繕費です。これに対して、建物の増築、避難階段の取付、フェンスの延長増設のように、原状回復ではなく新たな価値が発生する支出は、固定資産計上される典型例です。建物の増築工事代であっても、そのうちの既存建物の一部を取壊・廃棄した部分については、費用計上です。

固定資産のある部分を、寿命到来により元と同じレベルのものと取り換える場合は、原則として修繕費ですが、それを元より品質または性能の高いものに取り換えた場合、通常の取り換え費用部分を超える部分は、固定資産計上とされます。固定資産の移設費用は、原則として費用計上です。

このように、会計処理に迷った時には、法人税法の細かい取り扱いを参考にするとよいでしょう。

INFORMATION

助成金情報

県社協「ひょうごボランティアプラザ」のWEBサイトでは助成金情報を多数掲載しています。



公益財団法人大阪コミュニティ財団 2020年度助成

社会教育・学校教育の充実活動や社会福祉の増進など、さまざまな分野の社会貢献活動に助成します。

対象 1年以上の活動実績がある非営利団体(法人格の有無は不問)で、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に、実施を予定している公益に資する事業

助成額 各助成分野により異なる

締切り 令和元年11月25日(月)消印有効
④ ⑤ 公益財団法人大阪コミュニティ財団
 TEL 06-6944-6260

URL <http://www.osaka-community.or.jp/>

公益財団法人日本社会福祉弘済会 2020年度社会福祉助成事業

社会福祉関係者の専門性向上などを旨とした研修事業や研究事業に助成します。

対象 社会福祉事業や福祉施設の運営、福祉活動などを目的とする社会福祉法人、福祉施設、福祉団体

助成額 1件(1団体)あたりの上限額50万円かつ助成対象経費合計の80%以内

締切り 令和元年12月15日(日)消印有効
④ ⑤ 公益財団法人日本社会福祉弘済会
 TEL 03-5858-8125

URL <http://www.nisshasai.jp/index.html>

公益財団法人 楽天 未来のつばさ 自立奨学支援資金

児童福祉施設や里親家庭で暮らす子どもが自立する際の資金を提供します。

対象 児童養護施設・母子生活支援施設等の児童福祉施設に入所している児童、または里親家庭で生活している児童で、原則18歳を迎え進学・就職する児童

助成額 就職・進学の支度金として1人15万円(200人支援予定)

締切り 令和元年12月20日(金)必着
④ ⑤ 公益財団法人 楽天 未来のつばさ
 TEL 03-5642-7890

URL <https://mirainotsubasa.or.jp/>

兵庫県健康福祉部 「子ども食堂」応援プロジェクト補助金

新たに「子ども食堂」を開設し、事業の上げに必

要な経費の補助を希望する団体を募集します。

対象 県内でこれから「子ども食堂」を開設する団体(法人格の有無は問わない)

助成額 1団体あたり上限20万円
助成対象 開設に必要な経費(調理器具、家具及び食器購入費等)

締切り 令和2年2月28日(金)必着
④ ⑤ 兵庫県健康福祉部社会福祉局生活支援課
 TEL 078-341-7711

URL <https://web.pref.hyogo.lg.jp/>

研修・イベント

パティウォーク関西2019 in HYOGO

ダウン症の理解と支援を目的として、ダウン症候群の方と一緒に歩くチャリティーウォーキングイベントを開催します。

会場 しあわせの村(神戸市北区)

日時 令和元年11月10日(日)13:00~開演
 ※雨天の場合は11月24日(日)に順延

参加費 無料

参加方法 下記URLにアクセスし、申込フォームから手続きをする
④ パティウォーク関西事務局
 E-mail contact@bw-kansai.com

URL <https://bw-kansai.com/>

更生保護制度施行70周年記念 近畿大会シンポジウム

更生保護制度の施行70周年を記念し、シンポジウムを開催します。

内容 「令和の時代に更生保護が目指すもの」をテーマにしたパネルディスカッション

会場 神戸文化ホール(神戸市中央区)
日時 令和元年11月28日(木) 13:50~15:50

参加費 無料
参加方法 事前申し込み不要
④ 更生保護制度施行70周年記念近畿大会準備委員会事務局(法務省近畿地方更生保護委員会)
 TEL 06-6949-6261

募集

社会福祉法人清水基金 第8回国内研修事業について

社会福祉法人・NPO法人に所属し、障害福祉サービスに従事している方を対象とした研修を実施します。

会場 ハートンホテル北梅田(大阪)
研修日程 令和2年2月27日(木)~29日(土)

募集方法 ホームページで研修プログラムを確認のうえ、所定の申込書類及び添付書類を郵送にて提出 ※申込は1法人につき1名。受講料・交通費等は基本的に清水基金負担とする。

募集期間 令和元年11月21日(木)郵送必着
④ 社会福祉法人清水基金
 TEL 03-3273-3503

URL https://www.shimizu-kikin.or.jp/about_business/domestic/

行事予定

11月 5日 県ホームヘルプ事業者協議会 サービス提供責任者研修
◆ 姫路労働会館

県地域包括・在宅介護支援センター協議会 新任・現任職員合同研修

◆ 県福祉センター

8日 第3回県内社協事務局長会議
◆ 県福祉センター

12日 ストレスマネジメント研修
◆ 県福祉人材研修センター

14日・22日 社会福祉援助基礎研修(Bコース)

◆ 県福祉人材研修センター

19日 法人後見・市民後見推進会議

◆ 暮合文化センター

20日 福祉のしごとと職場見学バスツアー(阪神コース)

◆ 汐江ふたば保育園・メインストリーム協会

26日 福祉人材確保・定着力向上研修
◆ 県福祉センター

27日 前頭側頭型認知症家族交流会
◆ 県福祉センター

29日 社会福祉情勢セミナー
◆ 県福祉センター

アセスメントスキル向上研修(中堅向け/高齢・障害コース)
◆ 県福祉人材研修センター

12月 4日 福祉のしごとと職場見学バスツアー(東播磨コース)

◆ 常寿園・鹿児の郷

第2回大規模災害を想定した災害ボランティア連携訓練

◆ 神戸クリスタルタワー

6日 法人経営トップセミナー

◆ ザ・マーカススクエア神戸

9日 社会福祉法人 財務管理研修

◆ 県福祉人材研修センター



ハイボリュームプリントに
新しい未来を。

ORPHIS GD

高速カラー

低ランニングコスト

機能拡張性

理想科学工業株式会社 理想神戸支店 www.riso.co.jp
 〒650-0022 神戸市中央区元町通6-1-1 栄ビル1F TEL.078-371-6861 FAX. 078-371-6834

「兵庫県福祉手帳2020」 予約注文受け付け中!

社会福祉関係資料
兵庫県福祉手帳

兵庫県福祉手帳<2020年度版>が12月上旬発売予定です。カレンダーのほか、県内の福祉関係機関一覧を掲載しており、福祉関係者必携!

※民間社会福祉事業職員互助会の加入者には互助会より配布されますのでご注意ください。

2020

[サイズ]ヨコ9cm×タテ15cm [価格]990円(税込)

申し込み・問い合わせ先 兵庫県社協 企画部 TEL078-242-4633